

今週のモーニングセミナー報告

令和4年4月6日（水）の講話 <第887回>

テーマ：万象我師

講師：（一社）倫理研究所 法人レクチャラー 香川県倫理法人会 副幹事長 砂川昌幸 様

「皆さんおはようございます～近くの河津桜を観てきました」と開口一番。先日の桂こけ枝師匠からのアドバイス、免疫力が上がる方法、死ににくい免疫力の上げ方。 自己紹介金属加工の二台目の経営者。10年前に倫理法人会に入会。5代目の単会会長、成長のタイミングで入会したと思う。それまで、ぐうたらで～ゆでガエル状態。会社は先輩社員と若い社員の真っ二つ状態。自社を誇らしい会社にしたいと若手社員を雇い続けていた。生産性の向上、仕事の見える化。労働の日時計算、固定費のこと、顧客の依存度のバランス悪さ。ベテランと新人のジョブローテーション。中堅社員から「意見を述べる状態でない」といわれ。会社は旧体制派+新体制派で、真反対の方向に進んでいた。倫理指導を受けると「お父さんと相談していますか？」といわれる。父親から「すぐに元の組織に戻せ！」といわれる。「頭に来て、おれが会社を辞めてやると言った」。その時最大の見方は妻だった。再び倫理指導「両親に相談するんですよ」「社員さんの目指していることは、本当に目指している事なんですか」両親からのアドバイス「社員一人一人の言葉を黙って聞きなさい」黙って聞くのはこんなにしんどいものなのか。と思った。社員と雑談する父の態度は、心が先の実践見せてくれていた。逃げたら追われる。これからは周りの人達に伝えて実践していきたい。最後まで声が響く元気な講話でした。

担当者：赤山 芳隆

夜遅くまで飲み歩く日々だったが抜け出せたのは倫理法人会のモーニングセミナーのおかげ。XYZ世代について話され、育ってきた時代、環境により考え方も違う。従業員が誇らしく思える会社づくりを目指し、新たな取り組みで成績を棒グラフで社内に提示したりした。社員にはひびかなかったりして、倫理指導を2回受ける。父親との衝突、父親から元の組織に戻せと言われ頭にきた事。従業員が誇らしく思える会社になっているだろうかという、ベテラン社員と若手社員の融合、いろいろな葛藤が伝わってくる気持ちでした。愛してまーす、プロレスラー棚橋のメッセージで締めくくりました。両親からの事業引き継ぎへの気持ちなど私も共感するところが多くありました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは4月13日（水）朝6：00～7：00 南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「倫理を学んで変わったこと」と題しまして（一社）倫理研究所 法人レクチャラー 香川県高松市倫理法人会 幹事 荒木和夫 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 11 社 11 名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp